

日英 ODA 比較表

JICA UK 山本作成

	日本	英国																												
理念・目的	国際社会の平和と発展に貢献し、これを通じてわが国の安全と繁栄の確保に資すること (新政府開発援助大綱)	貧困削減に特化 (1997年 ODA 白書: Eliminating World Poverty、2002年国際開発法)																												
国民世論	現在の程度でよい 43.5%(前年比 5.8ポイント減) 積極的に進めよ 19.0%(前年比 0.2ポイント減) 減らすべき 25.5%(前年比 1.2ポイント増) (15年度内閣府外交に関する世論調査)	途上国の貧困に関心 70% 貧困問題に道義的責任 71% 貧困削減に貢献しているのは NGO 61% (2001年英国統計局)																												
実施体制	外務省、財務省等 13 省庁、JICA、JBIC	DFID(外務省から独立した省)が中心																												
金額 GNI比 (2003年実績)	8,880 百万ドル(前年比 9.2%減) 0.20	6,282 百万ドル(前年比 14.0%増) 0.34																												
地域配分 上位受取 10 カ国 (2003年実績)	<table border="0"> <tr><td>サブサハラ</td><td>7.4%</td></tr> <tr><td>南・中央アジア</td><td>23.9%</td></tr> <tr><td>アジア・太平洋</td><td>52.4%</td></tr> <tr><td>中東・北アフリカ</td><td>4.9%</td></tr> <tr><td>南米・カリブ</td><td>9.4%</td></tr> <tr><td>欧州</td><td>2.0%</td></tr> </table> <p>中国、インドネシア、フィリピン、インド、タイ、ベトナム、パキスタン、バングラデシュ、スリランカ、マレーシア</p>	サブサハラ	7.4%	南・中央アジア	23.9%	アジア・太平洋	52.4%	中東・北アフリカ	4.9%	南米・カリブ	9.4%	欧州	2.0%	<table border="0"> <tr><td>サブサハラ</td><td>43.4%</td></tr> <tr><td>南・中央アジア</td><td>29.2%</td></tr> <tr><td>アジア・太平洋</td><td>5.6%</td></tr> <tr><td>中東・北アフリカ</td><td>5.1%</td></tr> <tr><td>南米・カリブ</td><td>7.4%</td></tr> <tr><td>欧州</td><td>9.3%</td></tr> </table> <p>インド、セルビア・モンテネグロ、タンザニア、バングラデシュ、ガーナ、アフガニスタン、パキスタン、イラク、ウガンダ、南アフリカ</p>	サブサハラ	43.4%	南・中央アジア	29.2%	アジア・太平洋	5.6%	中東・北アフリカ	5.1%	南米・カリブ	7.4%	欧州	9.3%				
サブサハラ	7.4%																													
南・中央アジア	23.9%																													
アジア・太平洋	52.4%																													
中東・北アフリカ	4.9%																													
南米・カリブ	9.4%																													
欧州	2.0%																													
サブサハラ	43.4%																													
南・中央アジア	29.2%																													
アジア・太平洋	5.6%																													
中東・北アフリカ	5.1%																													
南米・カリブ	7.4%																													
欧州	9.3%																													
援助手法	プロジェクトベースが主流	プログラム化 財政支援化(17%前後)																												
援助主体	政府中心(官ベース)	民間、NGO、大学等へ委託																												
2 国間援助における セクター配分 (2002年実績)	<table border="0"> <tr><td>社会インフラ</td><td>20.4%</td></tr> <tr><td>経済インフラ</td><td>27.8%</td></tr> <tr><td>農業</td><td>6.8%</td></tr> <tr><td>工業</td><td>1.6%</td></tr> <tr><td>商品・プログラム援助</td><td>0.4%</td></tr> <tr><td>緊急援助</td><td>0.7%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>42.4%</td></tr> </table>	社会インフラ	20.4%	経済インフラ	27.8%	農業	6.8%	工業	1.6%	商品・プログラム援助	0.4%	緊急援助	0.7%	その他	42.4%	<table border="0"> <tr><td>社会インフラ</td><td>37.6%</td></tr> <tr><td>経済インフラ</td><td>7.5%</td></tr> <tr><td>農業</td><td>5.3%</td></tr> <tr><td>工業</td><td>2.0%</td></tr> <tr><td>商品・プログラム援助</td><td>0.3%</td></tr> <tr><td>緊急援助</td><td>12.6%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>34.7%</td></tr> </table>	社会インフラ	37.6%	経済インフラ	7.5%	農業	5.3%	工業	2.0%	商品・プログラム援助	0.3%	緊急援助	12.6%	その他	34.7%
社会インフラ	20.4%																													
経済インフラ	27.8%																													
農業	6.8%																													
工業	1.6%																													
商品・プログラム援助	0.4%																													
緊急援助	0.7%																													
その他	42.4%																													
社会インフラ	37.6%																													
経済インフラ	7.5%																													
農業	5.3%																													
工業	2.0%																													
商品・プログラム援助	0.3%																													
緊急援助	12.6%																													
その他	34.7%																													
NGO をつうじた支援の ODA に占める割合	1.8% (DAC 平均 5.2%)	8.7% (DAC 平均 5.2%)																												

出典: 2004 年外務省 ODA 白書、DFID DEPARTMENTAL REPORT 2003、2003 年 DAC 統計